

風船バレーボール『田布施さくらんぼ』



No.307

『風船バレーボール』を知っていますか？ 鳥越自治会 見山 洋子

障がいのある人も無い人も、老若男女と一緒にプレーできるバレーボールに近いレクリエーションスポーツです。

1チーム6人のうち、障がい者が3～4名で、地面に落ちないように全員がゴム風船をパスし、10回以内に相手コートに返す競技です。15点先取するか、規定時間内に多く得点したチームが勝ちです。使用するボールは鈴を2個入れた直径40センチの風船で、コートはバドミントンコートを使用します。

私が所属する『田布施さくらんぼ』は、平成6年に田布施町手話サークルの有志7名と田布施町心身障害者協議会会員8名で立ち上げたチームです。最初はパスが続かず、空振りやミスが多かったけど、日々練習を重ねて強くなり、大会ごとに好成績を残せるまでに成長しました。

平成20年には全国障害者スポーツ(大分)大会にオープン競技風船バレーボールの部に県代表として出場しました。全国のレベルの高さに驚き、それからの練習には一段と熱が入りました。また、柳北小学校から『風船バレーボールふれあい体験』の依頼、平成27年には、平生町社会福祉協議会からも依頼があり、子どもたちと一緒にプレーしました。

また、山口県障害者スポーツ協会の依頼により、『風船バレーボール初級審判講習会』のデモンストレーションに参加してきました。

今年、『田布施さくらんぼ』は、5月18日、新南陽ふれあいセンターで開催された『第29回ふれあい風船バレーボール大会』に参加し優勝。6月15日、県身体障害者福祉センターで開催された『第9回山口県障害者交流風船バレーボール大会』では、『さくらんぼB』が優勝、『さくらんぼA』が準優勝でした。その時の写真が県障害者スポーツ協会のホームページに掲載されています。

今、県障害者スポーツ協会の下、風船バレーボール連盟が立ち上がっています。また、チームに障がい者スポーツ指導員がいて、近隣で風船バレーを広めようと頑張っている。私たちのチームも可能な限りお手伝いしていこうと思います。

月に2・3回程度ですが、町体育館で練習しています。興味を持たれた方は覗いてみてください。練習とはいえ、みんな必死で風船を追っかけ



▲山口県障害者福祉センター



▲新南陽ふれあいセンター

ています。これからもみんなで助け合いながら、笑顔あふれるチーム作りを心がけたいと思います。

※『障害』『障がい』の使い分けは各団体などに関する標記を参照しています。

田布施町成人式

町社会教育課 ☎52・5813

◎令和2年1月4日(土)
午後1時
◎西田布施公民館

新成人の皆さんの前途を祝して成人式を行います。10月25日現在で町内に住民票のある人には案内を送付しています。それ以降に転入した人や、町内に住民票のない人(田布施町出身者)で町の成人式に出席を希望する人は、次の連絡事項を社会教育課にお知らせください。

◇連絡事項 新成人の氏名、生年月日、住所、世帯主名、電話番号

◇受付期限 11月28日(木)

※成人式対象者
平成11年4月2日～平成12年4月1日に生まれた人